

<社会教育>

「すぐ使えるアイスブレイク・レクリエーションを学ぼう」

保育園、小中学校、市町教育委員会より参加がありました。

日時：平成27年8月3日（月）
場所：鳥取県 東部庁舎 講堂

【ねらい】

児童生徒の仲間づくり、保護者連携に役立つアイスブレイクやレクリエーションの手法を学び、参加者のスキルアップを図るとともに、夏休み明け以降における児童生徒の取組意欲の向上に役立てる。



クイックチェック：自分の今の心の状態を親指で表します。みんなの状況も把握できます。



セブンイレブン：出した指の数の合計が7や11になったら、にぎやかにハイタッチをします。



キャッチ：いつもの「キャッチ」を発展させて、手を交互に組んだ状態でチャレンジしました。



ヒューマンノット：各自がそれぞれにひもの先を持ってつながり合った後、知恵の輪を解くようにほどこいていきます。

【参加者の感想】

- ・ 保育園の子ども達の発達に応じて、楽しくできるゲームがたくさんあったので、積極的に取り入れていきたいです。
- ・ 年度当初の子ども同士をつながりを見取るためにも効果的だし、関係性を強めるためにも意義ある活動ばかりでした。
- ・ いきなり集団にするのではなく、小さなつながりをたくさんつくっておいて、それをつなぎ合わせるとグループとして活動できることがわかりました。
- ・ 活動前に子どもに約束をすることで、達成することがゴールではないことが子どもにも伝わると思うので、活動前の約束や意識付けを大切にしたいです。